

議会情報

川越市議会に関する情報をお知らせします。

請願・意見書

今定例会で2件の請願書が提出されました。審議の結果は次のとおりです。
また、今定例会の最終日に、議員から意見書案が提出され、原案可決となりました。
意見書の内容は以下のとおりです。

身体障害者手帳4級への医療費助成制度の継続を求める請願書

— 不採択 —

提出者 川越市小仙波町2-50-2
川越市障害者団体連絡協議会
会 長 山田 誠次 ほか11名

「ホルムズ海峡封鎖等の影響を受ける中小企業・小規模企業者への緊急支援策の実施を求める意見書」の提出を求める請願書

— 採択 —

提出者 川越市宮下町1-6-21
川越地方労働組合連絡協議会
会 長 山岡 俊彦

川越市小仙波町3-15-5
埼玉県商工団体連合会 川越・東松山民主商工会
会 長 守屋 裕子

川越市月吉町4-6
埼玉土建一般労働組合川越支部
支部長 小野 元晴

ホルムズ海峡封鎖等の影響を受ける中小企業・小規模事業者への緊急支援策の実施を求める意見書

下記の意見書を、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣宛てに送付しました。

円安による物価高に加え、イスラエルとアメリカによるイランに対する攻撃を発端にした、ホルムズ海峡封鎖による影響が急速に広がっている。地元事業者からは「塗料用シンナーが80%値上がりした」「塗装の仕事の減少により足場の仕事も減ってきた」「値上がりにとどまらず、必要な原料・資材が手に入らない」「5月から仕事がなくなり、売上げが前月比で半減した」など、幅広い業種から切実な声が短期間のうちに寄せられている。

備蓄石油を放出しているので、直ちに影響は出ないとの報道もあるが、事業に必要な資材の調達そのものが困難に直面している。ガソリンはあっても資材がなく、仕事があっても受注できず、事業者にとって今の中東情勢はコロナ禍よりも怖く、中小企業・小規模事業者にとっては特に深刻な状況というのが実態である。

この中東情勢への対応は、一事業者の経営努力だけでは打開できない事態に既に陥っている。その中で「社員を路頭に迷わすわけにはいかない」と、多くの中小企業・小規模事業者は、先の見えない不安の中、資金繰りや雇用を維持する方策を必死で模索している。

こうした事業者を守るため、コロナ禍に実施された中小企業・小規模事業者が経営を安定させられる緊急支援策を早急に実施することを国に求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月24日

川 越 市 議 会

第2回臨時会

4月14日に開会し、下記の市長提出議案3件の審議、正副議長選挙、議会運営委員の選任等が行われ、同日閉会しました。

議案第42・43号 専決処分の承認 — 承認 —

議案第44号 川越市道路線の認定（開発行為） — 原案可決 —

臨時会で審議された内容は
こちらの会議録からご覧いただけます ▶

